

大代

# 婦人会だより

No.183

H29.7.14

## 「大代婦人会旅行

益田・雪舟・荒磯温泉・

トライアル 観察記(最終話)」



大家郵便局長 渡 剛

一年ぶりの寄稿となります。昨年は、旅行当日の早朝に突然の激痛が足先を襲い、歩くこともままならない状態に陥り、参加したくてもできない事態に陥り、突然の不参加となつてしまいました。誠に！誠に！残念なこと、婦人会の親睦旅行に参加できなかつた上、作文も書くことができず、非常にラッキー、、、いや、誠に残念な思いをいたしました。この思いを知ってか知らずか、「欠席した理由の作文を書きなさい！」と愛情溢れる恩師T先生のコメントもいただく中、3か月間痛みとの戦いが続きました。

さて、今年の旅行ですが、行くか

行かないかの議論から始まったと聞き及びました。会員の高齢化により、長時間のバスでの移動は避け、観光先ではできるだけ歩かないような配慮を強いられる状況にある婦人会の現状。結局今年は「益田だつて〜」との情報が入ってきました。「今年に行くんでしょ」「また行きましょうネ」と毎回ありがたいお誘いをいただき、感謝・感激です。そんな中、「今年は行かない」とSやのおばさん。ネタの宝庫である存在の不参加は痛いと思いつつ、正式なおファーを待っていると、今回の行程表に「トライアルでのお買い物」との記載があり、おいおい「トライアル」？ 長い間いろいろな旅行に行つておりますが、旅行の行程表に24H営業のスーパー「トライアル」への買い物があるかじめ設定されているのを見たのは初めてで、過去には、皆さんのたつての希望により、急きよ玉造の帰りに大田のイオンに立ち寄ったことはありますが、行程表に明記されているとは！さすがの大代婦人会。

今年は、総勢20人+1での「大代婦人会劇場」、皆さんの言動をできるだけお伝えすべく頭を抱えながらメモを見ながら悪戦苦闘しております。今回、果たしてどんなドラマが繰り広げられたかは、乞うご期待！

さて、連日の晴天続き、今年は雨がほとんど降らず、田んぼの水も無くなりつつあり、旅行当日も快晴の5月28日。まず、朝からいきなりのアクシデントが勃発。①来る途中に観光バスに出会い、どこへ行くのかと思いつつながら集合場所に行くところ、『普段とは違う装いに、よそ行きの顔のご婦人の人ばかり』。しかし、いつもはいるはずのバスが来ていない。「そば道場にいるらしい。」「道が分からないみたい。」「おいおい。②すると誰ともなく、「あれえ〜。T先生がいない」「忘れとつてるで〜」「まだ寝とんさるで〜」1人、2人と家まで迎えに。何とか時間には間に合いましたが、どうも、出発時間を一時間間違っていたみたい

です。いきなりの話題提供ありがとうございます。うございます。

何とか出発するかと思いきや、どの経路で行くのか道の確認から始まった。道が分からない運転手に、急きよ佐藤会長さんは、カーナビ要員が必要と判断し、高村さんをバスの前方の席に呼び寄せた。不安を抱きながら、やつとのことで出発。本今田のカーブもすれすれで通過し、これからは順調と思いきや、③横道で旧道へ行こうとする運転手に「ストップ」「違う違う」「バック・バック」。ちゃんと無事に着くのか更に不安を掻き立てられるもの、トロトロ、ゆっくり、ゆっくりと安全運転？で進む本日の「出雲観光不安号」。

何とか落ち着きを取り戻したバスの中では、「遅っせくな」「大丈夫かいな」「高速を走らず地道で行くらしいヨ」「早う帰っちゃいけん」「今回初めてお菓子を持ってきた（Kちゃん）、。。野菜、サル、病気、病院、あんま、孫、、、と様々

な話が前後・左右に飛び交い、会話を楽しみながら目的地へ。

朝のあいさつの後、まずはトイレ休憩場所の確認から。いつもながら、一番大切な最重要項目みたいです。

続いて、いよいよスレンダー美人の高村さん登場で様々な企画により、盛り上がってのバス旅行に。第1弾として、映画の「ウエスト サイドストーリー」ならぬ『局長のウエスト サイズ物語』と称したクイズがスタートしました。私のウエストの予想を皆さんにしていたたくもので、用意された紙テープを、私のウエストサイズと思われる長さで切って提出するもので、驚いたことに、メジャーの使用はダメだが、私へのボディータッチ有り、抱きつきもOKのセクハラもあったもんじゃあない何でも有りのサイズ予想クイズです。急に皆さんの視線が私のウエスト辺りに集中するのが妙にヤバイ展開に不安が、、（汗）。

ここで、場面が急展開。恒例となつていゝあのメインイベント順送

球ならぬ「順送菓子」「回覧板行動」が始まってしまいました。例年は、最初のトイレ休憩後に自然発生していたものが、今回は変則行動となつてしまった。発端は、いきなり佐藤会長から「今から、お菓子を回します」と差し入れのお菓子を回し始めました。右側から後ろへ「は〜い」「は〜い」次々と回ってくる。お菓子の袋から取り出しては、バスに用意されているビニール袋に次々と入れて行くも、「あ〜間合わな〜い」「取った?」「これは?」「まわして〜」次々に空になるお菓子の袋。そんな中、何故か寝ているT先生。

「じゃあついでに回そうっと」と、各自持参したお菓子が、後ろから、前から、横からと回り始め、パート2がスタートしました。「大きな袋を持ってきたケー、なんぼでも大丈夫ヨ（Mコちゃん）」、ビニール袋に4袋のお菓子を持ってきたH美ちゃん。「私は食べないが、孫に持って帰る」とKちゃん。「こっちから来たヨ」「は〜い」「前?」「取るのと、回すのが大忙し」。皆さん一人

何袋持参している事か。

今年の恒例イベントは、何と20分。もらったお菓子は25種類にも及ぶ袋いっぱいのお収穫となった。いつもながら、すさまじい光景だが、皆さんの顔が素晴らしく輝きを放つ一時だ。

さて、お待ちかねのトイレタイムの「ゆうひパーク浜田」に。今回は、特段の言動は期待できなかつたものの、私が格好の獲物となる事に。ウエストクイズのせいで、この際だからと何人の人に抱きつかれたことか。「意外と細いヨ」「私より細い」、更にすごい視線がウエストに、。

続いて、盛り上げ企画第2弾。『バックの中身ビンゴゲーム』。このゲームは、各自の持っているバックの中身にお題とマッチしているものの数でビンゴとなるオリジナルのゲームです。お題は、水玉の財布、貯金通帳、ストロー、数珠、綿棒、お菓手帳等々こんなの持っていないでしょうという23品。ですが、持

っている人がいるんですネ。最初のビンゴは、艶子さんでした。色々考えていただき、バスの中を盛り上げていただく高村さん。スゴイ!! 貴重な存在です。

スレンダー高村さんのおかげで、和気あいあいのバスの中。本日の最初の目的地、「雪舟の郷記念館」に何とか無事到着。館内には、1億円で譲り受けた雪舟作「益田兼堯像」に改めて「スゴイ」、鳥が9羽描かれていた。「花鳥風屏風」では、丁寧な説明をよそに、懸命に9羽を探す面々。更には「高村光雲の雪舟像」等。

次に向かったのは、雪舟庭園で有名な「医光寺」でしたが、「手入れができていない(HM子さん)」と以外にもブブー。しかし、一部の人には、隣接する「雪舟焼窯元」の看板が気になり、そそくさと雪舟焼きをしつかりと品定めをする人もいれば、焼き物より店頭に生えている草花に興味を持つグループも。焼き物は買わずに、植え替え用の花をも

らって帰る人5名。(全く商売になりませんでした。スママセン)唯一、益田七尾城の山門を移築した総門は良かった。(約2名)

雪舟に触れ、庭園を見て、あつという間の益田を後に。その間わずかに1時間30分。一行は、昼食と温泉を堪能するための「荒磯館」へ。バスの中では、どうもウエストのサイズが気になるのか、紙テープで予想しながら「裸にして測れば(Yちゃん)、。(汗)

ここでアクシデント④、快調に走行していた我がバスでしたが、1つ目の荒磯館の入り口をスルーし、2つ目の入り口も通り過ぎ、おいおい無理やりの歩道でのUターン。「大丈夫!」「道知つたらん」「ちゃんと着くん」。皆の心配をよそに何とか駐車場に到着。凄く綺麗な海が迎えてくれた。が、が、⑤バスを降りるなり、荒磯館と逆の方向に歩く人、荒磯館と思われる方向に進む人。一生懸命その様子をメモしている私に、今がチャンスと3人のご婦人に抱きつかれる始末の私。結局、

運転手が荒磯館の場所が分からず、移動するため再度バスに乗り込む人。ドタバタの到着劇でした。すかさず「いい話題があったでしょう」とYちゃん。と言うのも、足や膝が痛い人が数百メートル歩いて荒磯館に行き、若いもんがバスで移動していたという何とも滑稽な状況の話題を提供してくれました。

やつと着いた荒磯館での昼食タイム。まずは、「生ビールいる人は？」という誘いに6人が「はい」、「飲んで人書くんでしょう(T子さん)」。書くわけありません。なぜならいつものメンバーですもん。

食事は、刺身、鮪のたたき、サラダ、卵豆腐、ご飯、みそ汁、デザートだったか。こんなもんかい、、、。

ここで、盛り上げ第3弾。何と『局長を知ろうクイズ』。「知らんでもええ〜」との声も無視し強硬実施。私にまつわる10問の質問に答え、正解上位者に景品という企画でしたが、艶子さんがまたまたゲット。そ

の後、入浴組、おしゃべり組と綺麗な海を眺めながら、いっぱいおしゃべりをした後、帰路へ。

ちよつと待った！いつものお土産の話題が、、、。実は、荒磯館でもしまねお魚センターでも、お土産のお菓子の数々を初め、のどぐろの炊き込みご飯の素、カニ汁等々に至る物までが、何と大田の森〇製〇が販売元で、何で、ここまで来ての大田の商品を土産に買わんといけんの！と、いつもの光景が見れなく、その点が今回の残念点の一つでした。

さて、一行は、今回驚きの観光スポット「トライアル」へ向かうも、とにかく遅いバス。今40キロ、高速は70キロと、速度メーターを覗き込んで手ぶりで後方に速度を教えてくれるスレンダー。良い意味で法定速度をしつかりと守り、安全運転第一での走行が続き、今回最大の目玉に到着。

「観光バスでトリアルなんて」「バスから降りるのが恥ずかし

い！」とみんな口々に言っではいるものの、入店と同時に大きいカートを押しながらすっかりお買い物モードに。今晚の食材、お弁当、お菓子、、、。中でもMコちゃんは、保冷かばんを代金も支払わず出ようとしたハプニングもあり、皆さんそれなりに面白い物を楽しまれたみたい。このトリアルでの滞在時間は、今回の観光スポットで最大の1時間。

ここで、買物に参加せずバスの中にいた者にしか分からないKちゃん情報を紹介します。それはトリアルの駐車場で、バスを停めておくスペースがなく、通路に停めて出る車、入る車を避けながら、停める場所を確保し、あつちに行ったり、こちちに行ったりと大変だったみたいです。最初はボロクソに言っていたKちゃんだったが、トリアルの駐車場での運転手さんの懸命な努力を見て本当に感謝されていました。(そうなんだって！)

いよいよ最後に、『局長ウエスト

『サイズ物語』の結果発表でしたが、自分のサイズを測って差し出した正解のサイズが間違えられて、かなり長めのサイズを公表され、私の繊細な心が折れちゃった。(悲)

見事にニアピンは、恵子さんでした。ちなみに2位と4位は、私に抱きついた人でした。

今回の旅行は、私の卒業旅行という事で、最初から最後まで私にかかわるゲーム等を準備していただいた佐藤会長さん、高村さんに感謝申し上げます。また、思いがけず、皆さんと直接スキンシップまで図らせていただき、誠にありがとうございました。(汗)

さらには、私が最後という事で、自分も最後の参加にしようと思いついたれ、久しぶりに参加された谷口さん。ご参加ありがとうございました。

最後に、『お別れの挨拶』までさせられ、何だかすぐにでも退職してみたい気分でした。

平成13年に北九州の門司港の旅

に初めて参加させていただきました。以来毎年お声掛けをいただいた上、作文まで書かせていただき、誠にありがとうございました。本当に楽しかったです。

そして、今回の旅行最後のあいさつで、マサコさん(Mコちゃん)がやっちゃいました。マイクを逆向きで喋り出したというオチまで付いた上、「とても身体に良い運転で良かったです」と運転手に労いの言葉に、車内大爆笑！で旅行が無事終了しました。

今回のバス旅行は、今までになく何故だか非常に疲れました。佐藤会長曰く、「それはそうでしょう。みんなにたくさんの人に抱きつかれたからね。若い娘なら元気になるのに、それも年寄りばかりだったからネ」と言われ、そうか！「精气」が吸い取られたからだど、妙に納得する男性一人きり参加のバス旅行でした。

【ついに最終回】





みんなで  
はい！千一ス  
☆(=^・^=)☆

あぐりスクールに参加して

八反田支部 竹間初美

六月一七日JAのあぐりスクールが飯谷自治会館周辺のたんぼで開かれました。本日も快晴で大江高山も青空にくっきりと姿を見せ、とてもきれいでした。私達も婦人会から四人お手伝いに行きやまべのお米のおむすびと地元食材を使った豚汁を作りました。

今月は、田んぼの生き物調査で、市内十二組の親子の参加があり朝十時頃にマイクロバスが到着、いつもは静かな山里に子供達の元気な声が響いていました。

田んぼで捕ってきた生き物の名前を調べたり、数を数えたりして発表があり、「おたまじゃくし、げんごろう、めだか、水すまし、タガメなどたくさん取れて楽しかった。田んぼの土がぬるぬるした。ヒルにかまれた。」など色々な感想がおもしろかった。みんなお腹がすいた頃に外にテントを張って食事の準備ができました。



「お米がおいしいねの声。やまべのお米だからね。豚汁もおいしい」と、二杯三杯もおかわりしてくれてとてもうれしかったです。  
笑顔で帰って行く子供達を「又おいで」と見送りながら明日から頑張ろうとんだか元気が出たように思いました。JAの方、やまべの方準備とお世話でお疲れさまでした。無事終って安心しました。

## 近況報告①

### 私の今



下市支部 田辺幸子

五時に目覚め、一日の始まり。まずは私のかけ声でラジオ体操、階段昇降五回、そしてウォーキング、晴天続きの早朝、暑からず寒からず私にとっては何より、道端の花が私を迎えてくれる。外来種と言われる沢山の黄色い花、花菖蒲、月見草、出番を待っているコスモスと…。しかし田んぼは水不足で大きな亀裂で悲惨。雨を待ちこがれているのが現状。私、この世に生を受けて八十六年、大病ひとつせず今日までこの土地に生かさせてもらっている幸せをつくづく感じる。

しかし、すべての能力の減退（特に記憶力）はいなめないがここ九年何とか一人で生きている。心にかかるは今一番、認知症。

町を歩きながらガラス戸に映る自分の姿、腰をかがめて足をひきずつて歩く様にはうんざりするが、そ

れでもまだ杖なしで、ひとり歩いてる。車の運転免許の返納も頭にはない。

心掛けている事は体を動かすこと、食べることに、人との絆を大切にすること、まちセンで行われる週一回の体操教室、月一回のお楽しみ会（歌）、町・社寺・婦人会・老人会等の行事にはできる限り参加に努めている。

先日、笠岡さん宅周辺のササユリの見学会にも仲間入りさせてもらい若い頃の思い出が蘇り楽しかった。

私にとって今、声かけが一番嬉しい。先日も高山の里で見慣れない立派な紳士に「先生」と声かけて頂いた。小一の時の担任、七十五歳の教え子（名前だけは覚えていた）

私の趣味は花、畑づくり、歌、掃除片付けは今ひとつ。毎晩十時、息子からの電話も嬉しい。情報交換、二人の孫のコント。

一日はここで終わり、残る人生いくばくか、しかし幸せを噛み締めて眠りに入る。

## 近況報告②

樺支部 高崎美枝子



青若葉の季節を迎え、私なりに元気で今を生かされている事を本当に幸せに思っています。

先日、娘達夫婦が休みを取り、ふるさと大家に来てくれ、母の日を温泉でゆっくりくつろぐ事が出来、もったいない時間でした。

娘らと山の湯に浸かり、窓越しに見える青葉若葉のこの上なく美しかった事、何よりのプレゼントを頂きました。

孫達五人もみんな元気で、お婆さんにやさしい言葉をかけてくれて、ありがたいことです。

西宮の娘のお産の手伝いに行った時、近所の奥さんにも心やすくして頂きました。娘がこちらに帰るときは、何時もお土産をこつづけて下さり、その嬉しさは何よりも私の宝物です。

私の人生にたくさんの方から数え切れない宝物を頂き、心から感謝しています。

最後になりましたが、皆様のご健康とお幸せをお祈りいたします。

山の湯に家族揃うて見る若葉



### 近況報告③

八反田支部 中垣裕子

深緑が、とてもきれいな季節になりました。二、三日前からは、八反田川で蛍が飛びはじめました。

時間が、とても早く過ぎていると感じるの私だけでしょうか。

二〇一五年に、初孫が産まれ、ババちゃんになりました。

見る度に「えっ、この前までこんな事は出来なかったのに・・・。こ

んな風だったのかなあ？」と自分の子育てを思い出しながら、孫が大きくなるのを、「肘が痛い、腰が痛い」と言いながら楽しんでいきます。

数年前より、御朱印デビューしました。旅行の思い出に、転勤族の娘につれられたりして、行けるうちに、動ける時と思いつながら、頂いています。

雨が降らなくて、洗濯物はよく乾きますが、草はいつもより伸びるのが早いような気がします。

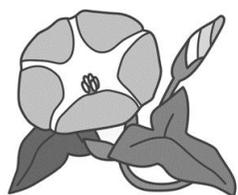
怪我をしないように気を付けながら草刈りをぼちぼちしている今日この頃です。

### お知らせ

#### お礼

大阪市 田中公道様

先日帰省された折、御芳志を頂き、有難うございました。



### 俳句

#### あすなろ句会

椿 花田時子

久々の雨に紫陽花彩戻す  
思い出は友と荒らせし苺畑

下市 今田文子

初物の破竹求めし無人市  
山の湯や窓辺に白き著我の花

川上 岩田律枝

去る子のテールランプや五月闇  
子と共に野良の仕事や草苺

椿 柿丸寿枝

日本海望む露天湯風光る  
老鶯やすぐに疲れる野良仕事

